

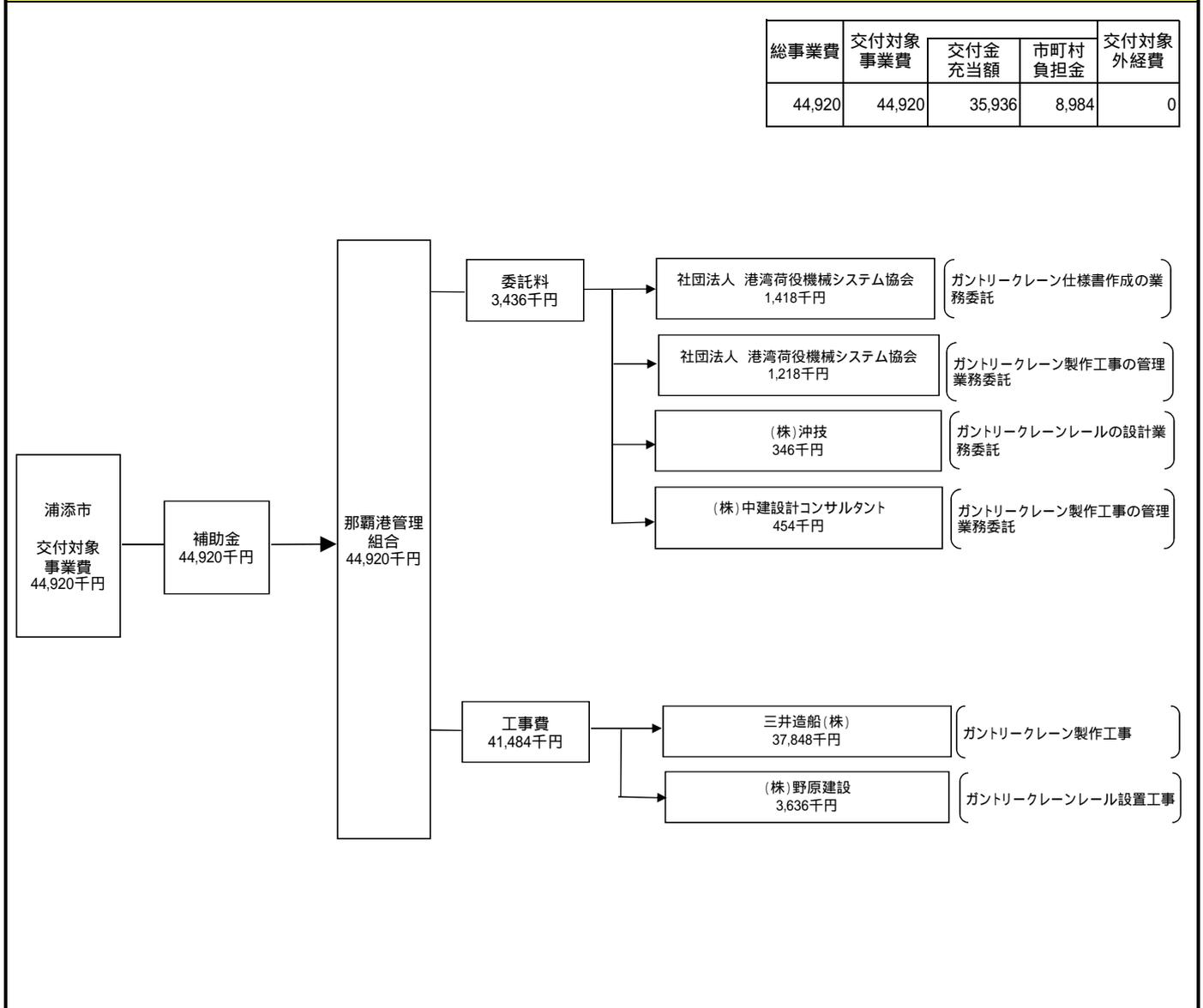
市町村名		浦添市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6- ガントリークレーン整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
	担当部課名	西海岸開発局 西海岸開発課		事業実施(予定)年度	H24～H26		
事業内容	輸出貨物の積み残しが生じていることから、港湾機能強化を図るため、現在2基のガントリークレーンを1基増設する。平成24年度は製作工事に着手する。						
	実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	40,000	-			
		(b)予算現額	44,920	-			
		(c)増減額(b-a)	4,920	-			
		(d)繰越額	-	29,703			
		A.計(b+d)	44,920	29,703			
		B.執行済額	15,217	29,703			
		うち交付金充当額	12,174	23,762			
		次年度繰越額	29,703	0			
		執行率(%) (B/A)	33.9%	100.0%			
予算の状況の説明		・ガントリークレーンが航空法に基づく制限表面高さ制約等に伴う構造変更により、既設のレール幅では、設置できないことから、新たなレールを整備する必要が生じたため、予算が増となった。 ・ガントリークレーンが航空法に基づく制限表面高さの制約があり、関係機関との協議に不測の日数を要し、更に、高さ制約に伴い、既製品では対応できず、部材等が特注品となったため、標準工期での製作は厳しく、繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	目標	仕様書作成、3号機製作工事着手	( )	( )	( )	( )
		実績	仕様書作成、3号機製作工事完了				
達成状況説明	活動目標どおり、仕様書作成を完了し、更に機械製作工事を完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	目標	( )	仕様書作成、3号機製作工事着手	( )	( )	( )
		実績		仕様書作成、3号機製作工事完了			
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	( )	( )
進捗状況説明		・成果目標どおり、仕様書作成を完了し、更に機械製作工事を完了することができた。 ・ガントリークレーン整備は順調に目標を達成してきており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物量増加に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガントリークレーン整備の執行について、航空法に基づく制限表面高さの関係機関協議により、当初予定していた工期より長くなった。</li> <li>・レールについて、ガントリークレーンの構造の変更により、既設のレール幅では設置できないことから、新たなレールを整備する必要が生じたため、予算増となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後工程に遅れが生じることがないように、工程会議等を密に行う必要がある。</li> <li>・事業費については、事業費の変更が生じないか、作業状況、現場状況等の把握に努める必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

引き続き、工程会議を密に行い、また、作業状況、現場状況等の把握に努めながら、ガントリークレーンの整備を早期に行い、国際流通港湾としての機能充実を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務、工事は一部専門知識を有する競争入札になじまないものを除き一般及び指名競争入札を実施しており、支出先及び額は適正である。</li> <li>・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。</li> </ul>
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	浦添市
------	-----

**平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6- 那覇港物流ビジネスモデル導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ				
担当部課名	西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度 H24	人流・物流を支える港湾の整備 -1-(3)				
事業内容	那覇港を活用することによる新たな付加価値を生み出すため、「那覇港物流ビジネスモデル」の提案及び「新たな貨物の掘り起こしや海外に運ぶ仕組みづくりの定着のため社会実験」の実証をするための費用を補助する。						
実施方法	直接実施	委託	補助 負担 その他 ( )				
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,955	-			
		(b)予算現額	3,955	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	2,790			
	A.計(b+d)		3,955	2,790			
	B.執行済額		1,165	2,285			
	うち交付金充当額		932	1,828			
	次年度繰越額		2,790	0			
	執行率(%) (B/A)		29.5%	81.9%			
予算の状況の説明		・物流ビジネスモデルのうち、香港向け混載輸出については、船社との調整に時間を要し、平成24年12月からの開始となったが、その定着のためには、継続的に行う必要があるため、繰り越して実施した。 なお、不用額については、中古車輸出モデルの社会実験対象貨物が、予定していた数量に至らなかった事による契約額の減である。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	那覇港における外貿航路の社会実験開始	目標 (社会実験開始)	( )	( )	( )	( )	
	実績	社会実験完了					
達成状況説明	活動指標どおり、当該物流ビジネスモデルの社会実験を開始し、更に社会実験が完了し、その結果貨物の輸出にかかるコスト及び輸送時間等を把握することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	那覇港における外貿航路の社会実験開始	目標	( - )	( 社会実験開始 )	( )	( )	( - )
		実績		社会実験完了			
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	( )	( )
		進捗状況説明	・成果指標どおり、当該物流ビジネスモデルの社会実験を開始し、更に社会実験が完了し、その結果貨物の輸出にかかるコスト及び輸送時間等を把握することができた。 ・外貿航路の社会実験は順調に目標を達成しており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物量増加に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。				

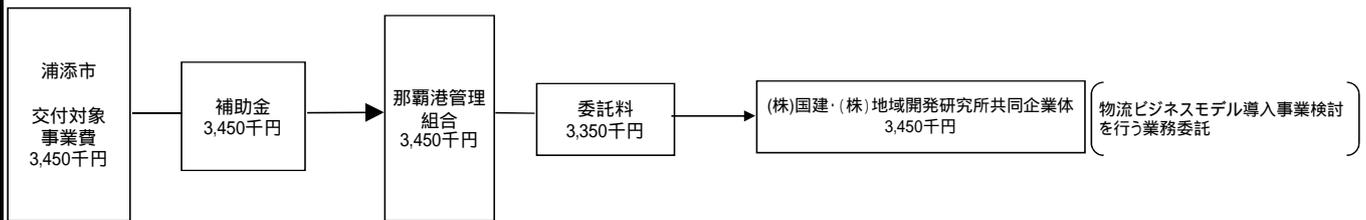
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな貨物の掘り起こしや海外に運ぶ仕組みづくりの定着のため社会実験の実施によって、物流コストの低減や輸送時間の短縮による、物流効率化を求める声は多いことがわかった。</li> <li>・輸送時間の短縮に資する、国外直行航路の新規開設を望む声が多く聞かれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流コスト低下に繋がる輸出貨物の更なる増加を図るため、荷主を対象とした「新たな輸送コスト検証のための社会実験」を行う必要がある。</li> <li>・輸送時間を短縮に資する国外直行航路の新規開設を図るため、船社を対象とした「新たな国外直航航路の社会実験」を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・荷主を対象とした「新たな輸送コスト検証のための社会実験」に要する費用を補助し、物流コスト低下に繋がる輸出貨物の更なる増加を図る。
- ・船社を対象とした「新たな国外直航航路の社会実験」に要する費用を補助し、輸送時間を短縮に資する国外直行航路の新規開設を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,450	3,450	2,760	690	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業者は、委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、支出先及び額は妥当である。</li> <li>・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。</li> </ul>
			予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		浦添市							
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	6- リーファー電源整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(1)-イ				
	担当部課名	西海岸開発局 西海岸開発課		事業実施(予定)年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(3)		
事業内容	年々需要が増大しているリーファーコンテナをさらに獲得するため、リーファー電源整備を40口増設する。								
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 ( )								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
		(a)当初予算額		12,000	-				
		(b)予算現額		7,080	-				
		(c)増減額(b-a)		4,920	-				
		(d)繰越額		-		7,001			
		A.計(b+d)		7,080		7,001			
		B.執行済額		79		6,025			
		うち交付金充当額		63		4,820			
		次年度繰越額		7,001		0			
		執行率(%) (B/A)		1.1%		86.1%			
予算の状況の説明		<p>・実施設計業務において、詳細に設計を行ったところ、新設のケーブルが既設配管への入線が可能となり、新設配管工場の必要がなくなったこと等から事業費が減となった。</p> <p>・本事業においては、リーファー電源以外にもガントリークレーンの増設を踏まえた受変電施設などの電気系統の詳細設計が含まれるが、クレーンの規格決定に係る協議に期間を要し、必要となる電力容量の把握ができず、これに伴う供給設備の設計が遅れたため繰越となった。</p>							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況						
			24年度	25年度	26年度	27年度			
	リーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	目標	( 実施設計、整備工事着手 )	( )	( )	( )			
実績		実施設計、整備工事完了							
達成状況説明	生鮮食品、冷凍庫など低温輸送が必要となるリーファーコンテナに必要なリーファー電源を那覇国際コンテナターミナルに設置するための実施設計を完了するとともに、工事を実施し、リーファー電源の需要に十分に対応することが可能となった。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
	リーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	目標	( - )	( 実施設計、整備工事着手 )	( )	( )	( - )		
		実績		実施設計、整備工事完了					
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	( )	( )		
進捗状況説明		<p>・生鮮食品、冷凍庫など低温輸送が必要となるリーファーコンテナに必要なリーファー電源を那覇国際コンテナターミナルに設置するための実施設計を完了するとともに、工事を実施し、リーファー電源の需要に十分に対応することが可能となった。</p> <p>・リーファー電源整備は順調に目標を達成しており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物量増加に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。</p>							

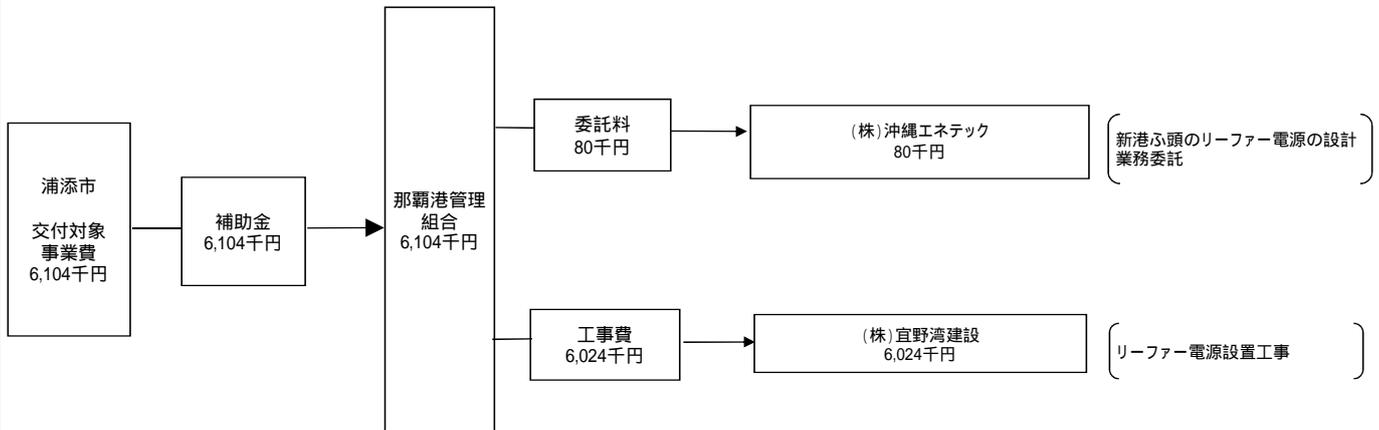
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動実績及び成果実績について、当初見込みどおり、実施設計を行い、整備着手する事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年々需要が増大しているリーファーコンテナを更に獲得するために必要となる箇所すべてのリーファー電源を整備できている。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 国際流通港湾機能の利用環境を維持すべく、施設の適切な維持管理を行う。
- ガントリークレーンの整備推進により国際流通港湾としての機能を更に充実させ、国際コンテナターミナルの利用促進を図ることによりリーファーコンテナの更なる獲得を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,104	6,104	4,883	1,221	0



資金の流 れ、費 目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業務は少額で競争入札になじまないものより随意契約としており、工事は指名競争入札を実施しており、支出先及び額は妥当である。</li> <li>費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。</li> </ul>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		浦添市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	生活物資安定供給対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ	
担当部課名	西海岸開発局 西海岸開発課		事業実施(予定)年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 -1-(3)	
事業内容	物流機能の強化を図るため、浦添ふ頭の岸壁背後地に防風柵を設置し、船舶のシフトの円滑化を図る。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 (   )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		26,000	-			
			23,500	-			
			2,500	-			
			-	14,034			
			23,500	14,034			
		B.執行済額		9,466	14,034		
		うち交付金充当額		7,573	11,227		
		次年度繰越額		14,034	0		
		執行率(%) (B/A)		40.3%	100.0%		
	予算の状況の説明	・防風柵設置工事において、入札残が生じ、当該事業の工事請負費が、想定していた事業費より減となった。 ・工事周辺箇所において、上屋建築及び舗装工事があり、資材搬入や工事ヤード等の作業工程について他業者との調整に時間を要したため、繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	目標	( 実施設計、設置工事着手 )	(   )	(   )	(   )	
		実績	実施設計、設置工事完了				
達成状況説明	浦添ふ頭において、強い北風対策のために必要な防風柵について、実施設計・工事を完了し、その結果、安全で効率的な荷役作業を確保することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	目標	( - )	( 実施設計、設置工事着手 )	(   )	(   )	( - )
		実績		実施設計、設置工事完了			
	[参考指標]	目標	(   )	(   )	(   )	(   )	(   )
		実績					
	進捗状況説明	浦添ふ頭の、強い北風対策のために必要な防風柵について、実施設計・工事を完了し、その結果、安全で効率的な荷役作業を確保することができた。					

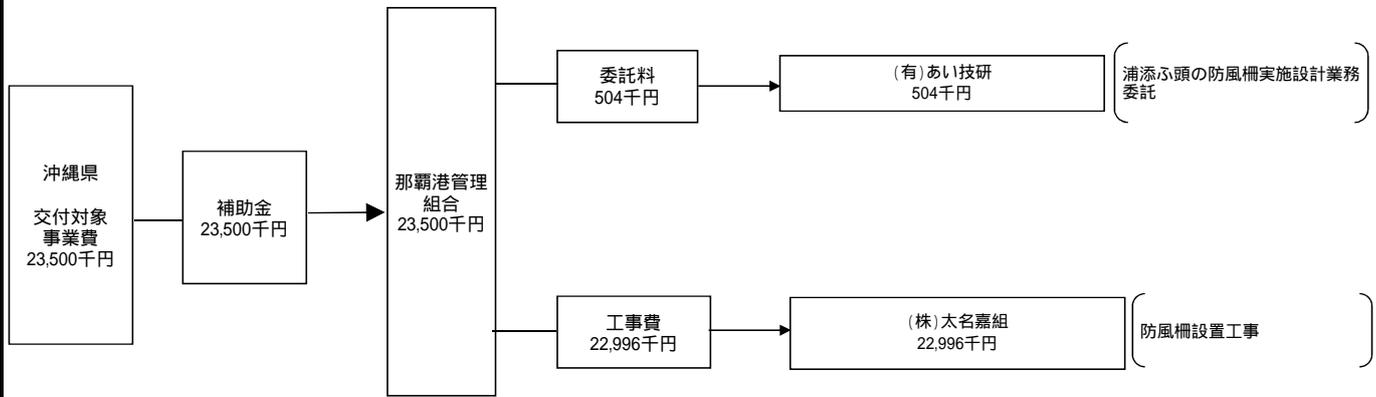
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・活動実績及び成果実績について、当初見込みどおり、実施設計を行い、整備着手する事ができた。</p>	<p>・浦添ふ頭の強い北風対策のために、必要な防風柵において、整備をすべて完了する事ができ、安全な荷役作業や作業員の良好な就労環境が確保できた。そのため、今後、新港ふ頭における荷役作業の混雑解消のため、一部の船舶について、浦添ふ頭へシフトする計画の推進が行える。</p>

**今後の取り組み方針**

浦添ふ頭において強い北風対策として必要となる防風柵を設置したことで、安全な荷役作業や作業員の良好な就労環境が確保され、更に新港ふ頭における荷役作業の混雑解消のため、一部の船舶について新港ふ頭から浦添ふ頭へシフトを行い、那覇港の物流機能の強化を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
23,500	23,500	18,800	4,700	0



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託及び工事事業者は、指名競争入札により業者選定しており、支出先及び額は妥当である。</p> <p>・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	浦添市
------	-----

**平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6- 観光客利便性向上施設整備事業	事業実施(予定)年度	H24～H25	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ
				沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 -1-(3)
担当部課名	西海岸開発局 西海岸開発課				

**事業内容**  
観光旅客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するため、ボーディングブリッジを整備するための費用を補助する。

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	6,000	-			
	(b)予算現額	8,500	-			
	(c)増減額(b-a)	2,500	-			
	(d)繰越額	-	8,500			
	A.計(b+d)	8,500	8,500			
	B.執行済額	0	8,500			
	うち交付金充当額	0	6,800			
	次年度繰越額	8,500	0			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	・ボーディングブリッジの形式等を、ボーディングブリッジに取り付く船の規模等を含め検討した結果、ボーディングブリッジの規模が大きくなり、工事費が増となった。 ・ターミナルビルへの取付部分の照査に時間を要したため、ボーディングブリッジの配置箇所、規模等の仕様作成が遅れ、繰越となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	目標	( 仕様書作成 )	( )	( )	( )
	実績	仕様書作成、製作工事着手			
達成状況説明	観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するための設置が必要なボーディングブリッジについて、仕様書作成し、昇降装置、支柱等の製作まで工事を進めた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			目標	( 仕様書作成 )	( )	( )
	実績	仕様書作成、製作工事着手				
	[参考指標] 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港におけるクルーズ船寄港回数	目標	53回(23年)	80回(28年)	120回(33年)	( )
進捗状況説明	観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するための設置が必要なボーディングブリッジについて、仕様書作成し、昇降装置、支柱等の製作まで工事を進めた。施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港におけるクルーズ船寄港回数)において、寄港回数増加に係る仕様書作成、施設製作を実施しており、目標達成に寄与するものである。					

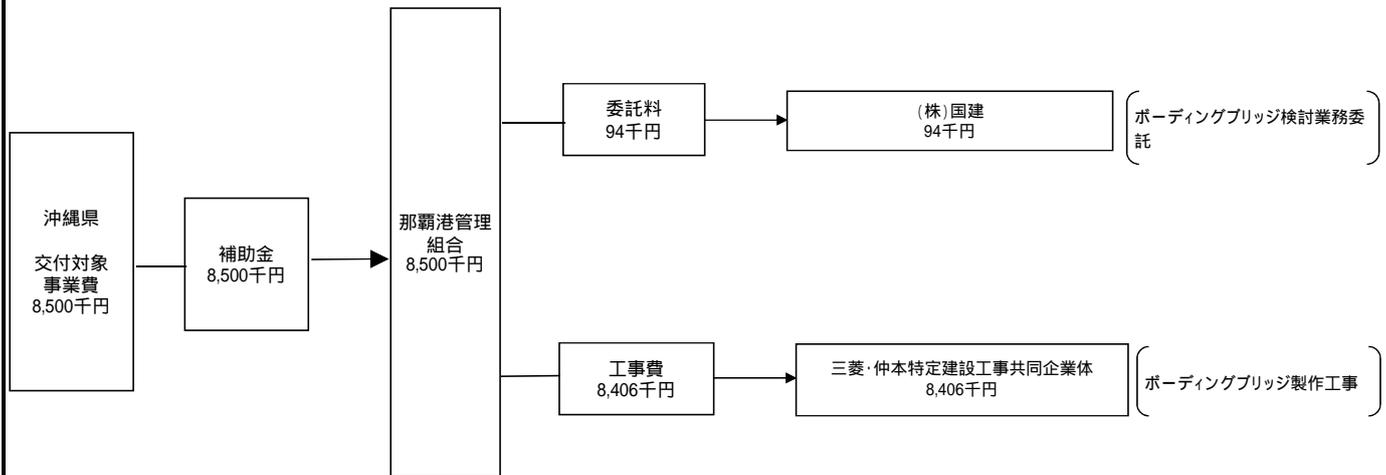
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルビルへの取付部分の照査に時間を要したため、ボーディングブリッジの配置箇所、規模等の仕様作成が遅れ、繰越となった。</li> <li>・ボーディングブリッジの形式等を、ボーディングブリッジに取り付く船の規模等を含め検討した結果、ボーディングブリッジの規模が大きくなり、工事費が増となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後工程に遅れが生じることがないように、工程会議等を密に行う必要がある。</li> <li>・事業費については、事業費の変更が生じないか、作業状況、現場状況等の把握に努める必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

引き続き、業務調整等を密に行い、また、作業状況、現場状況等の把握に努めながら、ボーディングブリッジの整備を早期に行い、観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性の向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,500	8,500	6,800	1,700	0



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務は少額で競争入札になじまないものより随意契約としており、工事は一般競争入札を実施しており、支出先及び額は妥当である。</li> <li>・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。</li> </ul>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		